

「転ばぬ先のチエ」
きっと見つかる



小売業編

SAFE

Safer
Action
for
Employees



職場の災害防止対策ヒント集

“ケガをしない職場”のためにできることから始めませんか



北海道小売業SAFE協議会・ 北海道労働局

「SAFE」は働く人だけでなく、家族、事業者、地域のすべての人の幸せのために、労働災害を改めて社会問題としてとらえ、顧客も含めたステークホルダー全員で解決策を考え、取り組んでいくための活動体です。

事例 1 可視化で防ぐ！労働災害



○ポイント

- ・**労災ハザードマップ**を作製し、可視化した。
- ・機械等の横にオリジナルの**危険ステッカー**を貼った。



○ハザードマップ



○危険ステッカー



リスクアセスメントやヒヤリハットを実施する中で、より従業員に危険箇所を知らせるとともに、危険箇所を可視化するため「**労災ハザードマップ**」を作成しています。

店内における労働災害で発生頻度の高い作業を洗い出し、それに該当する道具や場所にオリジナルの「**危険ステッカー**」作成して貼っています。

- ハザードマップを作るにはみんなの意見を聞くから、**問題意識が高まったり**、情報共有になっていいね。
- オリジナルのステッカーを貼るとポイントがよく伝わるし、最近雇用されてハザードマップを知らない人でも危ないところがわかっていいね。



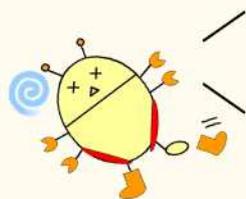
てんとう防止君



「労災トピックス」を 作成し周知

○ポイント

- ・安全衛生委員会で「**労災トピックス**」を作成し注意喚起した。



転倒しないように
事前に対策しよう!



「転倒災害」を防止するため、すり減った靴の取替を促しています。すり減った状態の写真を
つけ、新しい靴を申請してください、と解決方法を記載しています。

「労災トピックス」として労働災害の発生原因や同種労働災害の再発防止対策を
関係労働者に対して周知徹底を図っています。その際、短い文章で事例が伝わるよう、
また、具体的な対策をイラストを入れて記載しています。

○靴底の写真があるので、自分の靴と比較できるし、
新しい靴を申請していいんだ、と思わせるね。
○いつ、どこで発生したかがわかるので、別の店舗の人でも
同じ部署の人の目を引くね。
イラストが大きいので興味をもつし、内容が伝わりやすいね。



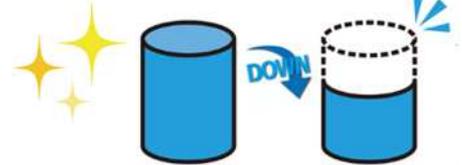
てんとう防止君

事例4 セーフティシューズで安全・安心！ 従業員を「挟まれ事故」から守ろう！



○ポイント

- ・「台車」や「カートラック」によるタイヤの足のはさまれ防止ため、約3,500名にセーフティシューズを導入した。



導入後の事故件数

50% 削減



従業員の声

- ・想像していたものと違う！
- ・デザインも良く軽くて歩きやすい！
- ・安心して作業を進められます！



- ・「台車」や「カートラック」のタイヤに足を挟めてしまう事故が多発していました。
- ・重い商品を運搬する機会が多い業種のため、使用頻度を削減せずに、事故発生削減を目指しました。

○靴を履くことで労働災害防止対策を講じられるから、労働者の負担が少ないという利点があるね。
○軽くて歩きやすい靴は足の疲労も抑えられるから、長時間の使用にはもってこいだね！



てんとう防止君



北海道小売業SAFE協議会・北海道労働局

事例5 イオン北海道オリジナル準備運動 で体も心も準備OK!



〇ポイント

- ・業務開始前のオリジナル準備体操を導入した。

総合スーパーやスーパーマーケットの店内作業はハードな作業がたくさんあります。一日1万歩以上歩いたり、重たいものを何十回も持ち上げたり、何時間もずっと立ちっぱなしだったり.....

そこで...

オリジナル準備体操を導入!

- * 足・腰に負担をかけすぎない。
- * 心地よく可動域を広げる。
- * どの年代にも対応できるゆったりリズム。
- * 「さあ、働こう」という気持ちに切り変える。



体が軽くなり、スムーズに仕事に入れます。
準備運動で仕事のスイッチが入ります!

普段、あまり運動する機会が無く、日常生活で使わない部分も動かすことができ、良い取組だと思います。



- ・従業員が継続実施しやすい内容であることを重視し、2分以内の運動にしました。
- ・従業員からは「やってよかった!」「気持ちが前向きになれる」とポジティブな意見が大半を占めています。

○短時間だと継続して実施できるから、準備体操として持ってこいだね。
○身体をほぐしておくことで、つまづきや無理な体勢によるケガを予防することに繋がるね。



てんとう防止君



全員参加のヒヤリハット！ みんなの職場をみんなで守ろう！

○ポイント

・労働災害を多く発生させている事業場を「労災対策店舗」とし、全員参加のヒヤリハットを実施した。

- ・ 昨年労働災害の発生件数が非常に多かった店舗
- ・ 今年労働災害を多く発生させている店舗

➤ 労災対策強化店舗



自店の「危険」を共有をするため、
全員参加のヒヤリハットを実施。
(Webインターフェースを使用)

- ・ 多くの従業員がなんとなく感じていた「危険な場所」を数値化することで、意識するようになりました。
- ・ 今までは声に出すことにためらいのあった従業員も全員参加した効果で、様々な意見集約ができました。
- ・ 管理者だけでは気が付かなかった不具合がわかり、店舗巡視時のチェック箇所に活かすことができました。

○「危険な場所」について、数値化したり従業員が意見を言える環境を作ったりしたおかげで、今まで気が付きにくかった問題点が見えるようになったね。
○安全衛生に関する現場の意見を取り入れる機会を作ることができる良い取組だね。



てんとう防止君

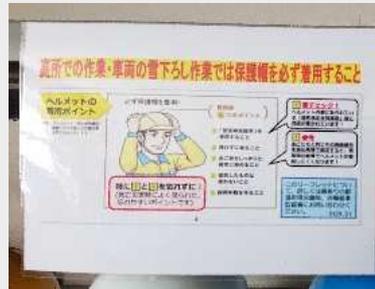
事例7 可視化で防ぐ！労働災害

○ポイント

- ・トラックの雪下ろし作業の災害防止のため、事故事例を掲示して注意喚起した。
- ・張り紙で保護帽の着用の徹底等を図った。



保護帽の着用徹底



災害事例の掲示



- ・雪下ろし作業時の災害の再発防止対策として、事故事例を掲示しました。
- ・道具や保護具の適切な使用方法の他、作業する際1人で行うことが無いように、2人ペアでの作業指示を掲示しました。

○作業前に安全な作業方法を必ず確認できるよう工夫がなされているね。
○事故の事例を掲示することで、危険な作業だという意識が芽生えるね。



てんとう防止君

油の持ち出し対策！ 「シューズブラシ」開発



○ポイント

・オリジナルの「**シューズブラシ**」開発により、作業場から売り場への油の持ち出しを防いだ。

○従来のブラシ

表面用



靴裏用



立ったまま片足を上げて使用するが、靴を脱いで使用する必要がある。

○新ブラシ



靴を履いた状態で、足を動かして汚れを落とします。手すりを付けているので安全に使用できます。社内の関連部署メンバーが集まり、**ブラシメーカー様と改良を重ねました。**

スーパーのデリカ部門ではフライ作業が多いため、シューズ裏に油分やバター液が付着することで、売り場やバックルームにも油が持ち出され、転倒の一因となっていました。

そこでシューズ裏に付着した油分や汚れを除去し、売り場やバックルーム床の清潔化、シューズの衛生管理維持、お客様や従業員の転倒防止のために、**独自のブラシを開発**しました。

○売り場には従業員だけでなくお客様もいるから、このブラシによって多くの方の安全が守られているね！



事故を未然に予見する！ KYT活動

○ポイント

・スマホツールを用いて、**KYT(危険予知トレーニング)活動**を行い、**事故を未然に防止した。**

○KYT活動の一例

12月度KYT(危険予知トレーニング)活動

このイラストは、事故の直前を抜いたものです。

このあとどんな事故が発生するでしょうか。1つ選択してください。



【回答選択肢】

- カゴ車の車輪で足を踏む
- カゴ車が転倒して下敷きになる
- カゴ車の底板が抜ける

毎月15～25問出題

対象人数
全店舗(24,000人)
月間平均実施人数
21,000人(約88%)

従業員数が多い販売店等では、特にパート・アルバイトへの安全教育が行き届いていない状況でした。

そこで、店舗用スマホ端末を使用して、KYT活動を実施し、全従業員が個々のスケジュールに合わせてトレーニングに取り組めるような環境を整えました。

トレーニングでは、前月の労働災害を題材にすることが可能で、毎月繰り返し実施することで継続的な教育ができるようになりました。

○前月の災害をもとに問題が作成できるので、**現状に合った対策**をとることができるね。

○社員だけでなくパート・アルバイトの方々にも教育が行き届くことで**全体**として安全への意識が高まっていいね。



自律的な店舗安全 推進活動！



○ポイント

- ・店舗ごとの課題に対しテーマを設定し、「**安全対策ワークショップ**」を開催した。
- ・好事例を社内報で紹介し、**水平展開**へつなげた。



本企業では安全最優先と言っているものの、同様の事故が繰り返されていました。

そこで、安全推進リーダーを中心として店舗ごとの課題に対しテーマを設定し、毎月「安全対策ワークショップ」を開催、従業員が**自律的・自発的**に安全最優先な行動がとれる体制の構築を目指しています。

好事例は社内報で紹介するなどして**水平展開**へつなげることで、店舗全体の安全意識が高まることや、安全以外の面でのコミュニケーションも円滑になりました。

- 同様の事故を繰り返さないために**全体として対策**して
いて素晴らしいね！
- ただ事例の共有をするだけでなく、一人一人が**主体的**
にリスクや対策を考えられていていいね。



○ポイント

・動画作成により、危険な作業を「文字」ではなく「**動作**」として認識させることで、**誰でもわかりやすく**、安全作業に対する理解度を深めることができた。

○作成動画



動画化により・・・

- ・誰でもわかりやすく、安全作業に対する理解が深まった。
- ・教育の質が画一化され、教育の差が解消された。

労働災害発生件数は
減少傾向！



これまで従業員への安全教育は、危険箇所や危険作業などが書面上でマニュアル化されたものを用いて行われていましたが、理解度に個人差があることや、教育方法も人によって異なるため、同様の災害が頻発していました。

しかし、外国人技能実習生の雇入れを機に、安全動画作成に取り組み、言葉ではなく”目”で危険を認知してもらうような教育に切り替えました。

今では50本以上の動画が完成し、**全従業員**に周知しています。

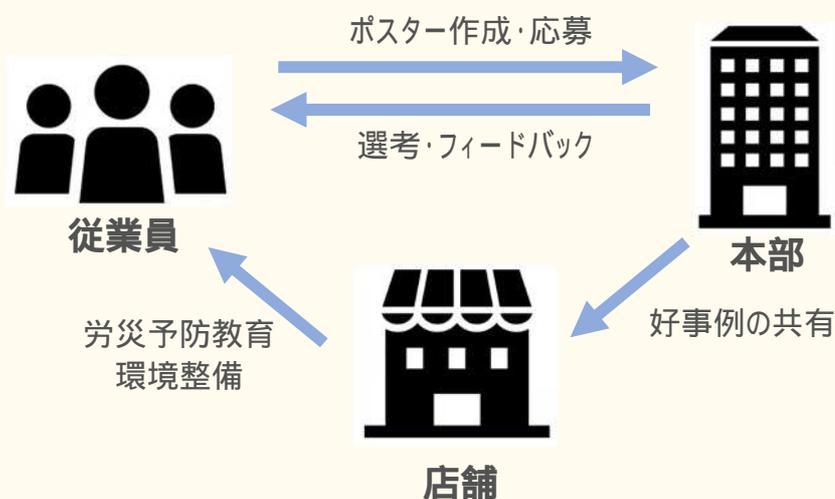
○言葉では伝わりにくい部分も、動画にすることで実際に作業する際に**思い出して実践**することができるね！



○ポイント

- ・従業員から「**労災予防オリジナルポスター**」を募集し、応募作品は全従業員が閲覧できるようにした。
- ・なかでも優秀作品については全店に**予防促進事例**として共有した。

○応募作品の一例



・労災発生件数は微減。次年度以降も継続実施の予定。

本企画は、従前から各店舗や個人で実施していた労災予防の取り組みについて、好事例を他店にも共有し、全社的な労災予防につなげていくことを目的に実施されています。

従業員作成のオリジナルのポスターを募集し、応募作品から労働環境改善プロジェクトメンバーとゾーン責任者で共有すべき事例を選考します。

選ばれた作品は全事業所へ共有され従業員への予防促進へ活用するとともに、その実施状況集約後応募者へフィードバックし、全店への予防促進事例として公開されます。

○従業員が自ら作成することで、現場のリアルな対策を反映することができるね。

○身近な人が作ったポスターは興味が湧くし、自分も実践してみようという気持ちになるね！

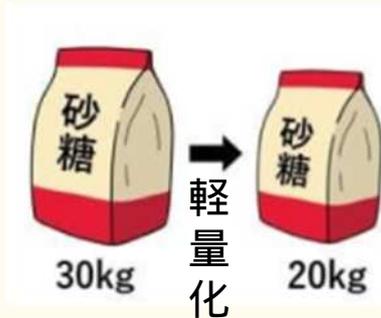


てんとう防止君

○ポイント

・腰痛予防のため、運搬重量を**減らす**ことに加え**腰痛ベルト**を支給した。

内容量の変更(30kg → 20kg)



腰痛ベルトの使用



懸念

軽量化により運搬回数が
増え作業効率が低下
するのでは・・・

実際は・・・

腰への**負担が軽減**されたことにより、
作業がスムーズに進み、かえって
効率が良くなった！

本企業では商品の原料袋などの重量物を持ち上げる際に、急性腰痛症(ぎっくり腰)になる事例が多発していました。

そこで、原料メーカーに相談し、砂糖類の大部分を一袋あたり30kg → 20kgに軽量化しました。また、重量物を扱う従業員に腰痛ベルトを支給し、作業中の着用を徹底しました。

原料の軽量化により、運搬回数が増え作業効率が悪くなる懸念がありましたが、腰への負担が軽くなり、テキパキ動けることでかえって**効率が良くなりました**。

○懸念点があっても実践してみるとかえって**良い結果**につながることもあるんだね。

○さらに重量を減らすともっと**効率が良くなる**のか気になってくるね。



てんとう防止君

安全衛生お役立ち情報



○日本労働安全衛生コンサルタント会

労働安全・衛生コンサルタント（国家資格）が事業場の診断や指導を行います。



○産業保健総合支援センター

産業保健総合支援センターでは、理学療法士を事業場に派遣して、運動指導等を行うサービスを提供しています。



○メンタルヘルス対策

労働者がメンタルヘルス不調になることを未然に防止することを主な目的として、ストレスチェック制度の実施マニュアル等を掲載しています。



○職場における熱中症予防情報

職場における熱中症予防対策に関するコンテンツ（動画教材やガイドブック等）を掲載しています。



○外国人労働者の安全衛生対策について

厚生労働省では、外国人労働者の安全衛生対策に活用いただける教材を提供しています。



○転倒災害防止リーフレット

近年、中高年齢の女性労働者を中心に、職場で転んで骨折する等の「転倒災害」が急増しています。リーフレットを活用して被害の防止・軽減に取り組みましょう。



○エイジフレンドリーガイドライン

高齢者の安全と健康確保のために、事業者及び労働者が取り組むべき事項を取りまとめました。



○エイジフレンドリー補助金

高齢労働者の労働災害防止対策や、労働者の転倒や腰痛を防止するための専門家による運動指導の導入等を行う中小企業事業者に対して、一定の補助金を交付しています。



○中小規模事業場安全衛生サポート事業

専門家が現場や作業の問題を示して、改善のアドバイスを無料で行っています。対象は100人未満の事業場です。

